世界から見る和歌山の魅力



❶ジョージさんは、大阪でALTとして働く傍ら、空いた時間を使って農業に取り組んでいる。「夏は放っておくと雑草があっという間に広がるので大変なんです」と笑う。❷「とにかくいろいろ試して、いいものができたら」と話すジョージさんと妻の真美さん。かきやはっさく以外にも、みかんやぶどう、すももやキウイ、南国のフルーツ・フェイジョア、とうがらしなど多彩な作物にチャレンジしている。❸購入した空き家は、趣ある日本家屋の特徴や良さを残しながら改修。自分たちで育てた作物の加工場を設けることも考えている。

九度山でみつけた、地域と自然に心地よくつながる暮らし

アメリカ・シアトル出身のジョージ・ハミルトンさんと、大阪府堺市出身の妻・真美さん。大阪で暮らしていた二人が九度山町に移住したのは2022年。都会の喧騒から離れた暮らしを求めて関西各地で物件を探す中、和歌山県の空き家バンクで農地付きの一軒家に出会い、現地の景色を見て「ここだ！」と購入を決めた。

自然豊かなシアトルで育ったジョージさん。若い頃は都会に憧れたものの、大阪で長く暮らすうちに、再び自然のそばで暮らしたいと思うようになったという。九度山町は、丹生川の清流や山々に囲まれながら、地域の人とのつながりもある。「大阪にも近くて便利だし、付き合いも付かず離れず、ちょうどいいんです」と二人は話す。

引き継いだ農地では、かきやはっさくを中心に、さまざまな作物の栽培に挑戦。二人とも農業はまったくの未経験だったが、近隣の農家やJAに教わりながら、トライ&エラーで楽しんでいるという。

ジョージさんは町の消防団にも入団し、地域にすっかり溶け込んでいる。地域とつながり、自然とともにいきいきと暮らす二人と犬猫二匹。和歌山で見つけた忙しくもスローな暮らしに、笑顔が絶えない。





❹ジョージさんは町の消防団にも所属し、地域の一員として地域住民とも良好な関係を築いている。❺自宅の裏山にあるジョージさんたちのかき山。大阪でも働くジョージさんにとって自宅と農園の近さも、移住地としてここを選んだ理由だという。